

千曲市 第 10 期 老人福祉計画・介護保険事業計画策定支援業務 仕様書

1. 委託業務名

千曲市第 10 期老人福祉計画・介護保険事業計画策定支援業務

2. 目的

千曲市では、老人福祉法及び介護保険法に基づき、令和 9～11 年度を計画期間とする千曲市第 10 期老人福祉計画・介護保険計画を策定する。

本業務では、現計画の振り返りや令和 7 年度に行った「高齢者実態調査」に基づく市民ニーズの把握、千曲市で取り組むべき課題や施策の検討とともに、ロジックモデルを用いた計画書作成支援を目的とする。

3. 委託業務内容

(1) 現行計画の評価

- ・現行計画を検証し、進捗状況や課題の整理を行うこと。
- ・上記を基に、第 10 期計画の基本方針や方向性を検討するための資料を作成すること。

(2) 現状の把握

①国・県、関連計画における高齢者福祉の状況整理

- ・国や県の方針及び市の総合計画や地域福祉計画及び障害者計画などにおける施策を把握・整理し、次期計画の施策・事業との連動を持たせるものとする。

②基礎情報収集及び見える化システムの活用による状況分析

- ・関係省庁や県が行っている調査結果や千曲市で把握している統計情報や「見える化システム」を活用し、千曲市の高齢者が置かれた状況、介護保険事業の成果の状況などを分析すること。
- ・主要指標に対する類似自治体との比較や時系列分析を行い、千曲市固有の課題や千曲市において成果が出ている取組みなどを明らかにすること。
- ・分析結果については資料を作成し報告すること。

③高齢者実態調査の集計・分析

- ・令和 7 年度に実施した「高齢者実態調査」の千曲市調査対象分を再分析し、結果を見える化システムに入力すること。
- ・類似自治体との比較及び時系列での変化を分析し、千曲市の現状及び力を入れるべき課題等を明らかにすること。
- ・集計、分析結果は資料を作成し報告すること。

④担当課ヒアリング実施

- ・高齢福祉課職員を対象にヒアリングを行い、高齢者福祉において発生している課題及び見える化システムにおいて顕在化した千曲市の弱み・強みなどへの対応の方向性などについてまとめ、資料を作成すること。

(3) 計画策定支援

①ロジックモデルの構築と指標設定

- ・各データ分析結果と担当課ヒアリングを基に指標を提案すること。
- ・指標を構造化し、ロジックモデルを構築すること。
- ・各種施策に成果指標を設定すること。
- ・ロジックモデル構築について、関係資料を提供するとともに高齢福祉課職員に指導すること。

②計画素案の作成

- ・人口ビジョン等を用いた被保険者数及び要介護保険者数等の推計を行うこと。
- ・介護サービス供給量を推計し、介護保険料の設定についての案を作成すること。
- ・上記推計等に基づき、計画素案の作成をすること。
- ・パブリックコメントへの対応等、成案の作成支援を行うこと。

③関係例規整備支援

- ・国・県の方針を鑑み、法律改正や制度改正、計画に関する動向等の情報を取りまとめ、関係例規整備に係る支援及び情報提供を行うこと。

④千曲市ゴールドプラン 21 推進等委員会の運営支援

- ・委員会において、適切な議論を行うために専門性が必要なケース（統計解析にかかる資料作成等）において支援を行うこと。
- ・予定している各回（3回予定）の委員会に出席し、必要に応じ質疑対応をすること。

⑤計画書のレイアウト

- ・計画成案成立後、計画書としての体裁を整えること。
- ・計画概要の外部説明用資料作成の支援をすること。

4. 成果物

- (1) 千曲市第10期老人福祉計画・介護保険事業計画 電子データ（媒体）
- (2) 千曲市第10期老人福祉計画・介護保険事業計画 紙印刷 2部
- (3) 高齢者実態調査の簡易レポート電子データ

5. その他

この仕様に定めのない事項又は疑義が生じた場合は、その都度、委託業者と受託者で協議を行い定めるものとする。